

## 言葉を行動に移す

高一

「いじめがあつたら勇氣をもつて行動しよう。」ある映画の中で出てきた言葉です。その言葉を聞いて、僕は改めて「勇氣って何だろう？」と思うようになりました。ここ何か月か勇氣という言葉に敏感になっていたのでからです。その理由は僕の過去にありました。

中学生の時のことです。A君が周りの人からいじめられていました。僕の友達のB君が「やめろよ！」と言って、その中に入りました。その時いじめていた人たちはB君を

「お前も仲間なのか！」

と言ひ、蹴飛ばしたのです。僕は、騒ぎが収まつた後、B君に

「勇氣があるんだね。」

と声をかけました。多くの人も同じように、ありきたりの言葉をB君に言いました。しかし、ある先生が僕たちに言いました。

「勇氣という言葉は簡単に使つてはいけない。それは自己犠牲を伴うことなんだぞ。」

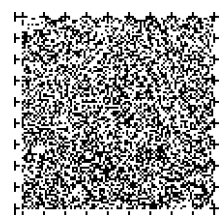
この言葉を僕は忘れません。その言葉を聞いた時、ある出来事を思い出しました。

卓球部のC君がピンポン玉をほかの部の子に取られ、なかなか返してもらえませんでした。しばらくして返してもらった後に、僕は

「勇氣を出して『返してよ。』って言えばよかったのに。」

とC君に言つてしまいました。その後で、僕は自分の言つてしまったことに無責任さを感じました。

それ以来、勇氣という言葉を遣うことにためらいを覚えるようになりました。これらの経験から、勇氣という言葉はもちろん、問題があつた時、発する言葉には責任があり、言葉を行動に移していくことが大切だと思ひました。では、勇氣とは何か。それは、僕なりに考えると、何事からも逃げないことだと思ひます。それが勇氣の第一歩だと思つています。その時に仲間がいてくれたら、支えになるでしょう。それに、僕もそのような存在



でありたいと思います。  
言葉は人を傷つけるといふけれど、よく考えてつかえば、自分や周りの人を成長させることができます。その言葉を遣うだけではなく、行動にも移せる人になりたいです。そして、自分自身の言葉に重みと輝きを持たせていければと思います。  
そして、勇気を持った行動の輪を広げていく努力をしていきたいです。

